

10w/v % 500mL
外用殺菌消毒剤

日本薬局方

ベンザルコニウム塩化物液

**ベンザルコニウム塩化物消毒液10%〈ハチ〉

(逆性石けん液)

【組成・性状】

1. 組成

1mL中 日本薬局方ベンザルコニウム塩化物100mg含有。

2. 性状

無色～淡黄色澄明の液で、特異なにおいがある。
振ると強く泡立つ。

薄めて使用すること

販売



小野薬品工業株式会社

大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

製造販売



東洋製薬化成株式会社

大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号

1Q

**2020年12月改訂(第9版)

**2015年 6月改訂

貯法: 気密容器

使用期限: ラベルに表示(3年)

【効能・効果】【用法・用量】

1. 手指・皮膚の消毒: 通常石けんで十分に洗浄し、水で石けんを十分に洗い落とした後、ベンザルコニウム塩化物0.05～0.1%溶液(本剤の100～200倍希釈液)に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で拭拭する。術前の手洗いの場合には、5～10分間ブラッシングする。
2. 手術部位(手術野)の皮膚の消毒: 手術前局所皮膚面をベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)で約5分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.2%溶液(本剤の50倍希釈液)を塗布する。
3. 手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒: ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液(本剤の400～1000倍希釈液)を用いる。
4. 感染皮膚面の消毒: ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液(本剤の1000倍希釈液)を用いる。
5. 医療機器の消毒: ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)に10分間浸漬するか、又は厳密に消毒する際は、器具をあらかじめ2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本剤の100倍希釈液)中で15分間煮沸する。
6. 手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒: ベンザルコニウム塩化物0.05～0.2%溶液(本剤の50～200倍希釈液)を布片で塗布・拭拭するか、又は噴霧する。
7. 膣洗浄: ベンザルコニウム塩化物0.02～0.05%溶液(本剤の200～500倍希釈液)を用いる。
8. 結膜囊の洗浄・消毒: ベンザルコニウム塩化物0.01～0.05%溶液(本剤の200～1000倍希釈液)を用いる。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹、痒痒感等の過敏症状

注) このような場合は使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿たん白試験で偽陽性を示すことがある。

3. 適用上の注意

(1) 人体

- ア. 経口投与しないこと。
- イ. 原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- ウ. 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
- エ. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- オ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。

日本標準商品分類番号 872616	
**承認番号	30200AMX00477
**薬価収載	2020年12月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1982年8月

- (と全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。
- カ. 密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。
 - キ. 深い創傷又は眼に使用する場合は希釈液としては、注射用蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
- (2) その他
- ア. 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落としてから使用すること。
 - イ. 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
 - ウ. 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には、通常用いる濃度の1.5～2倍の溶液として使用すること。
 - エ. 繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように新しく洗い溶液を補充すること。
 - オ. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。
 - カ. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。

【薬効薬理】

1. 芽胞のない細菌、カビ類に広く抗菌作用を有する。即ちグラム陽性、陰性菌のみならず真菌類に対しても抗菌性を有する。
2. チフス菌に対する石炭酸係数は20～60程度である。
3. 有効濃度では比較的、組織刺激性が少なく、皮膚、組織、粘膜に適用される。
4. 陽イオン界面活性剤であるため表面張力を低下し洗浄作用、角質溶解作用、乳化作用も示す。
5. 殺菌の作用機序は陽イオンが微生物中に侵入し、他の必須イオンを追いだすとも、酵素系を変性させるともいわれている。

【取扱い上の注意】

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するために0.1%溶液に0.5～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので使用しないこと。

【文献請求先】

東洋製薬化成株式会社 医薬情報部
〒533-0031
大阪市東淀川区西淡路5丁目20番19号
電話 0120-443-471



瓶: PE
キャップ: PP
パッケージ: PE, PP
キャップシール: PS

調剤

販売



(01)04987039486318

使用期限

製造番号